

## ひょうご人権ジャーナルきずな 令和5年5・6月号参考情報

先に発行いたしました「きずな」令和5年5・6月号について、参考となる情報をインターネット検索し、入手した情報を下記のとおり添付いたしますので、ご参考に願います。

### 記

#### 1 里親制度について

##### (1) 対象児童の現状

(「社会的養育の推進に向けて」(令和5年4月5日こども家庭庁支援局家庭福祉課)より抜粋・加工)

保護者のない児童、被虐待児など家庭環境上養護を必要とする児童などに対し、公的な責任として、社会的に養護を行う。対象児童は、約4万2千人。

里親		登録里親数	委託里親数	委託児童数
家庭における養育を里親に委託		15,607世帯	4,844世帯	6,080人
区分 (里親は重複登録有り)	養育里親	12,934世帯	3,888世帯	4,709人
	専門里親	728世帯	168世帯	204人
	養子縁組里親	6,291世帯	314世帯	348人
	親族里親	631世帯	569世帯	819人

#### 2 ネットいじめについて

##### (1) ネット依存の中高生の現状

平成29年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）  
飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究班  
飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入方法の開発に関する研究  
平成29年度 総括・分担研究報告書 研究代表者 尾崎米厚（鳥取大学医学部）  
平成29（2018）年5月より抜粋・加工

##### 1) インターネットの過剰使用

この30日間の平日のインターネットの使用時間をみると、男女とも2時間未満（1時間台）が多いが、高校になると4時間台が多くなり、5時間以上もかなり多くなった（表58）。女子のほうがやや使用時間が長い傾向にあった。休日の使用時間をみると、4時間台が多くなり、次いで5時が多かった。しない人はほとんどなく、多くの中高生が長時間使用していた（表59）。この30日間にインターネットを使用した人を分母に、利用したサービスをみると、LINE等（Skype、チャット、メッセージを含む）が最も多く、男子より女子が多かった。動画サイト、情報検索、SNSなども多かった。SNSは男子より女子が多く、オンラインゲームは男子が多かった（表60）。インターネットを使う際に利用するデバイスをみると、スマートフォンが最も多かった（表61）。インターネットの病的使用者をスクリーニングする8項目からなるスクリーニングテストの結果を同じスクリーニングテストを用いた2012年の調査結果と比較すると、2017年度では、不適応使用者（3-4点）および病的使用者（5点以上）の割合が、中高、男女とも顕著に増加していた（表62、表63）。男子よりも女子で割合が高かった。

病的使用者（YDQ5点以上）の割合は、2017年の中学では12.4%（男子10.6%、女子14.3%）、高校では16.0%（男子13.2%、女子18.9%）であった。2012年の結果を2012年の学年別生徒数を使い調整すると中学では6.0%（男子4.4%、女子7.7%）、高校では、9.4%（男子7.6%、女子11.2%）であった。中学では倍増していた。不適応使用者（YDQ3-4点）の割合は、2017年の中学では、21.8%（男子20.8%、女子22.9%）、高校では、27.1%（男子24.3%、女子29.9%）であった。2012年では

中学は12.6%（男子10.9%、女子14.4%）、高校では、18.5%（男子15.9%、女子21.1%）であったから、こちらも大幅に増加した。すなわち、2点以下の適応使用者が大幅に減ったことになる。

個別の項目をみると、頻度が高かったのは、過剰使用（意図したより長い時間使用）、渴望（インターネットをすることを待ち望む）、制御不能（時間を減らしたり、止めることに失敗する）であった（表64）。男子より女子で割合が高かった。インターネットの使い過ぎで発生した問題では、「授業中の居眠り」「成績低下」が際立って高く、次いで、「遅刻」「友人とのトラブル」であった。「居眠り」は学年があがるにつれ多くなったが、「成績低下」は中学のうちから高かった。「遅刻」が学年があがるにつれ多くなり、「友達とのトラブル」は、女子に多く、中学生の女子が多かった（表65）。多くの問題が発生していた。

表63 YDQIによるインターネットの過剰使用についての分類（2017）

		適応使用者	不適応使用者（3-4点）	病的使用者（5点以上）	
男	中学1年	72.2%	19.3%	8.4%	100.0%
	中学2年	68.4%	20.7%	10.9%	100.0%
	中学3年	65.4%	22.2%	12.3%	100.0%
	高校1年	61.1%	25.2%	13.7%	100.0%
	高校2年	62.8%	24.7%	12.5%	100.0%
	高校3年	63.6%	23.1%	13.3%	100.0%
女	中学1年	69.0%	19.4%	11.7%	100.0%
	中学2年	60.7%	24.7%	14.7%	100.0%
	中学3年	59.0%	24.5%	16.5%	100.0%
	高校1年	49.7%	31.0%	19.3%	100.0%
	高校2年	50.6%	29.9%	19.5%	100.0%
	高校3年	53.4%	28.8%	17.8%	100.0%
合計	中学1年	70.6%	19.4%	<b>10.0%</b>	100.0%
	中学2年	64.6%	22.7%	<b>12.8%</b>	100.0%
	中学3年	62.2%	23.4%	<b>14.4%</b>	100.0%
	高校1年	56.1%	27.7%	<b>16.1%</b>	100.0%
	高校2年	57.4%	27.0%	<b>15.6%</b>	100.0%
	高校3年	59.1%	25.6%	<b>15.3%</b>	100.0%

## （2）子供のインターネットの利用状況

（令和2年度 青少年のインターネット利用環境実態調査（令和3年3月内閣府）より抜粋・加工）

〔子供の年齢〕	インターネットを利用している（％）
0歳	7.1
1歳	17.2
2歳	43.8
3歳	60.2
4歳	58.7
5歳	66.0
6歳	71.2
7歳	76.6
8歳	85.7
9歳	87.2

### (3) ネットいじめの現状

〔(令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要)  
(令和4年10月27日 文部科学省) より抜粋・加工〕

#### 1) いじめの態様別状況

「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。」の件数は全体で**21,900件**で、引き続き増加傾向にある。H26: 7,898件、H27: 9,187件、**H28: 10,779件**、H29: 12,632件、H30: 16,334件、R元: 17,924件、R2: 18,870件